

## H27 シカ年度 エゾシカモニタリング事業案（ルシヤ地区）

## 1. 経緯

- ・ 知床半島における主要な越冬地の中で、ルシヤ地区は唯一個体数調整未実施。2期計画中に必要な調査を行った上で、3期計画策定段階で知床岬地区と同様に特定管理地区として個体数調整を行うか、A地区の管理方針である人為的介入を避ける原則を堅持するか判断する予定。
- ・ 2015年3月のヘリセンサスでは、ルシヤ地区（U-02とU-03）で254頭を確認し、エゾシカの発見密度は11.52頭/km<sup>2</sup>と依然高密度である。
- ・ ヘリセンサスでの発見頭数推移(図1)から、2011年以降に生息密度が減少したが原因は不明。
- ・ 平成26年度より季節移動調査を実施中。エゾシカのメス成獣を平成26年6月に4頭、8月に2頭、11月に4頭、計10頭生体捕獲し、GPSテレメトリー首輪を装着した。この10個体については平成27年度春までの調査期間中はルシヤ地区外への移動は認められなかった。

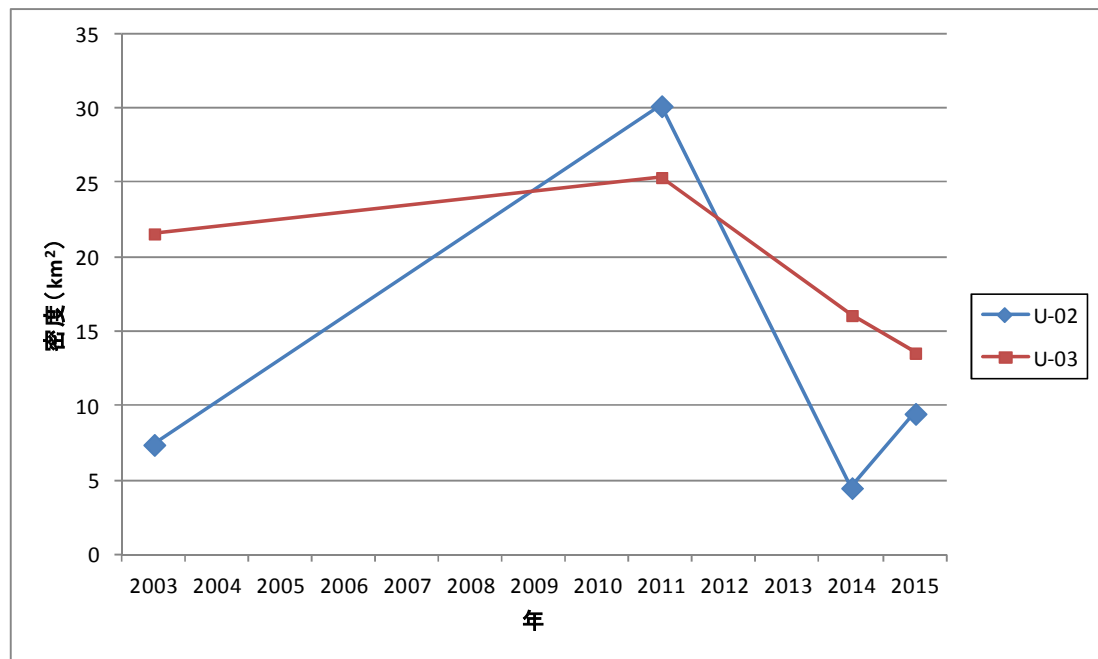


図1. ルシヤ地区（広義）の各調査区におけるエゾシカ発見密度の推移。

（U-02：ポトピラベツ～テッパンベツ，U-03：ルシヤ～ポンプタ）

## 2. 方針

- ・ 前年調査の生体捕獲実施時期が6～11月であったことなどから、ルシャ地区に生息するシカの季節移動の有無、特に他地区からの越冬期の流入の有無を明らかにするには、情報が不足している。積雪期(4～5月)に同地区で4頭程度を追加捕獲しGPSテレメトリー首輪を装着する。
- ・ 平成27シカ年度は、捕獲手法検討に関する調査は行わず、引き続き季節移動調査を行う。

## 3. モニタリング事業案

### ●追加捕獲

頭数： 4頭程度

時期： 雪解け後、ルシャ地区にアクセス可能になり次第(4月後半を想定)

実施体制： 流氷明け後に船でアクセスを想定

\*この期間に生体捕獲を行うことにより、今後の捕獲手法検討に資する情報を収集する。

### ●季節移動モニタリング

前年度に標識付けした10個体および今期の新規個体について、季節移動をモニタリングする。

### ●耳標の装着

ルサ囲いワナでの捕獲目標以上に捕獲された場合に、耳標を取り付け放獣しモニタリングを行う。